

J Aバンク佐賀における地域密着型金融の取組状況（平成 28 年度）

J Aバンク佐賀（佐賀県内 4 J A と佐賀県信用農業協同組合連合会）では、農業と地域社会に貢献するため、『J Aバンク佐賀中期戦略』に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

平成 28 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資をはじめとする支援

J Aバンク佐賀は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

(1) 農業融資商品の適切な提供・開発

J Aバンク佐賀は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 29 年 3 月末時点の J Aバンク佐賀の農業関係資金残高^(注1)は 35, 107 百万円（うち農業経営向け貸付金 29, 123 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^(注2)残高は 4, 309 百万円となっています。

(注) 1 農業関係資金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

2 J Aバンク佐賀が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。

【営農類型別農業資金残高】

(単位：百万円)

	平成 28 年 3 月末現在	平成 29 年 3 月末現在
農業	29, 232	29, 123
穀作	1, 762	3, 001
野菜・園芸	2, 462	3, 462
果樹・樹園農業	1, 331	1, 326
工芸作物	414	568
養豚・肉牛・酪農	7, 276	10, 404
養鶏・鶏卵	4	62
養蚕	—	—
その他農業	15, 983	10, 300
農業関連団体等	6, 894	5, 984
合計	36, 126	35, 107

- (注) 1 農業関係の貸出金とは、農業者、農業法人及び農業関係団体等に対する農業生産・農業経営に必要な資金や農産物の生産・加工・流通に関する事業に必要な資金等が該当します。
- 2 「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。
- 3 「農業関連団体等」には、JA及び専門農協とそれらの子会社等が含まれています。

【資金種類別農業資金残高】

(単位：百万円)

種 類	平成28年3月末現在	平成29年3月末現在
プロパー農業資金	17,852	16,645
農業制度資金	18,274	18,462
農業近代化資金	11,589	11,606
その他制度資金	6,685	6,856
合 計	36,126	35,107

- (注) 1 「プロパー農業資金」とは、JA及び当会原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。
- 2 「農業制度資金」は、①地方公共団体が直接的又は間接的に融資するもの、②地方公共団体が利子補給等を行うことでJAバンク佐賀が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがありますが、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。
- 3 「その他制度資金」には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

【農業資金の受託貸付金残高】

(単位：百万円)

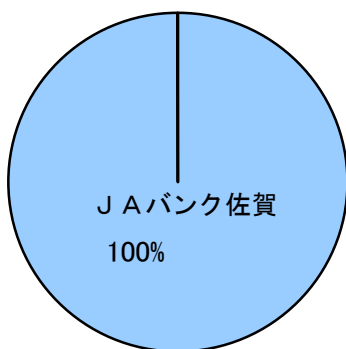
種 類	平成28年3月末現在	平成29年3月末現在
日本政策金融公庫資金 (旧農林漁業金融公庫)	3,712	4,309
その他	—	—
合 計	3,712	4,309

(注) JAバンク佐賀では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

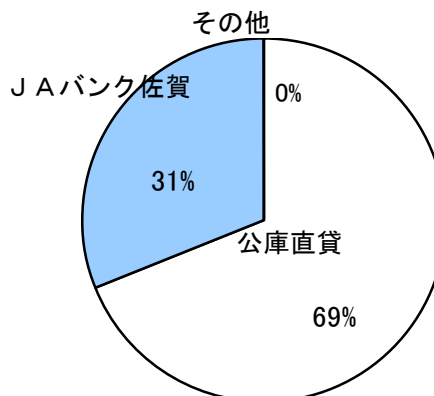
JAバンク佐賀は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金(公庫直貸除く)の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【佐賀県の農業近代化資金および公庫農業資金の取扱いシェア】

近代化資金取扱いシェア
(平成29年3月末時点)



公庫農業資金取扱いシェア
(平成29年3月末時点)



J Aバンク佐賀の県内シェア 100.0%

(単位：百万円)

	金額
佐賀県全体	11,606
うちJAバンク佐賀	11,606

J Aバンク佐賀の県内シェア 31.0%

(単位：百万円)

	金額
佐賀県全体	18,926
うちJAバンク佐賀	5,879

(2) 担い手のニーズに応えるための取組み

J Aバンク佐賀では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

①担い手金融リーダーを中心とした体制整備

J Aでは、本所および各店舗の農業融資担当者等が営農・経済担当者等からお聞きした相談内容を把握し、適確に資金提案等の訪問活動を実施しています。

また、県内4JAおよび信連には、担い手金融実務の責任者となる『担い手金融リーダー』を70名(平成29年3月末現在)配置し、今後の県内農業を担う集落営農組織・認定農業者の農業経営に対する、きめ細やかな支援に努めています。

J A系統独自の農業融資資格制度「JAバンク農業金融プランナー」を導入しており、有資格者は平成28年度末時点で県内に139名誕生しています。農業融資の実務に即した資格の取得を通じ、農業金融に関する知識・ノウハウの一層の充実を図り、多様化・専門化する農業者の金融ニーズに応えていくことを目的としています。

また、当会が県域農業金融センターとしての訪問活動・JA支援指導・農畜産物の販売拡大等の農業金融支援業務の拡充が必要不可欠であることから、平成28年4月に農業金融支援センターを設置しています。

(3) 農業メインバンクCS調査の実施と結果の活用

J Aバンクでは、JAの農業融資に対する率直なご意見・ご感想をお伺いすることを目的として、お客様満足度の計測(農業メインバンクCS調査)を行っています。

得られた結果を活用しながら、農業者の声により応えることが出来るよう、農業メインバンク機能の一層の強化に取り組んでいます。

2 担い手の経営のライフステージに応じた支援

J Aバンク佐賀は、これからの農業の担い手をサポートするため、ライフステージに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

J Aバンク佐賀では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、青年等就農資金等を取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

(単位：件、百万円)

	平成28年度 実行件数	平成28年度 実行金額	平成29年3月末 残高
青年等就農資金	61	291	544
就農支援資金	—	—	49
JA新規就農応援資金	—	—	198
合計	61	291	791

(2) 農商工連携の推進

J Aバンク佐賀では、地域を支える中小企業者と農林漁業者の連携による新たな事業化を促進するために、『さが農商工連携応援ファンド』に参加し、地元金融機関の活性化および農業・農村の6次産業化による新たなビジネスへの取組みを応援しています。また、農林中央金庫と連携し、生産者・J Aと加工流通業のビジネスマッチングに向けた取組みも行っています。

【平成28年度 商談会等開催状況】

商談会名	開催日	主催者	J Aバンクの関わり方	内容
県内J Aと農林中央金庫福岡支店取引先とのビジネスマッチング	H28. 6. 7	農林中央金庫福岡支店が提案	信連が仲介	J Aさがとビール会社との県産大麦を使用した消費拡大（協力）
県内J Aと農林中央金庫福岡支店取引先とのビジネスマッチング	H28. 6. 14	農林中央金庫福岡支店が提案	信連が仲介	J Aさがとパン会社との商品取扱いの検討（未成約）
県内J Aと県内企業とのビジネスマッチング	H28. 12. 8	信連が提案	信連が仲介	J Aさがと食品会社との県内農産物を使用した商品開発（未成約）
県内J Aと農林中央金庫福岡支店取引先とのビジネスマッチング	H28. 12. 13	農林中央金庫福岡支店が提案	信連が仲介	J Aさかの部会と企業との海外輸出に向けた検討（未成約）
第4回J Aグループ・J Fグループ九州商談会	H29. 1. 20	農林中央金庫九州各県信連	信連が共催	商談件数 650 件 成約件数 26 件
信連取引先からの紹介による県内J A部会とのビジネスマッチング	H29. 3. 2	三菱UFJ信託銀行	信連が仲介	J Aさかの部会と企業とのカタログ販売に向けた検討（未成約）
信連取引先からの紹介による県内J A部会とのビジネスマッチング	H29. 3. 2	三菱UFJ信託銀行	信連が仲介	J Aさかの部会とブライダル会社との商品取扱いに向けた検討（成約）



(3) 農業法人とのネットワーク拡大

農林中央金庫の協力のもと、県内農業の活性化に向けて、農業生産法人に対し、農業資金のPR等、関係強化に向けた取組みを行っています。

また、アグリ投資育成(株)によるアグリシードファンド(出資)の実績としては、4先(平成29年3月末)となっております。

(4) JAグループ佐賀講演会・セミナー等の開催・参画

JAグループ佐賀では、一流の経営者を招いた講演会や、6次産業化・輸出・ファンドに関するセミナー等を開催し、担い手の経営力向上に貢献しています。

【平成28年度 講演会・セミナー等開催・参画状況】

講演会・セミナー名	開催日	主催者	対象参加者	参加者数	内容
担い手経営セミナー	H28.9.6	県域担い手SC	経営者・行政担当者・JA職員等	80名	「農事組合法人の決算書の見方から経営管理に必要な分析について」

(5) 被災者・生産資材高騰等への支援資金

JAバンク佐賀では、当県で発生した鳥インフルエンザにより影響を受けられた、または今後影響を受ける恐れのある農業者および農業法人の方の経営相談や資金ニーズに対し、迅速かつ柔軟に対応するため、相談窓口を設置しました。

また、県内全域で発生した「べと病」の影響を受けた農業者(農業法人含む)に対する低利での貸出金利の設定など、担い手に対する経営支援に取り組みました。

(単位：件、百万円)

取組事例	JA名	内容	件数	貸付実行金額
鳥インフルエンザ対策資金の相談窓口設置	JAバンク佐賀	鳥インフルエンザの影響を受けた農業者および農業法人からの相談	—	—
べと病被害にかかる資金対応	JAさが JAからつ JA伊万里	平成28年3月に発生したべと病により玉葱の収穫および販売高が大幅に減少し、減収による経営悪化に対応するため、低利な貸出金を設定し、農家組合員の支援を行うもの	229	331

(6) 経営不振農家の経営改善支援

J Aバンク佐賀では、負債整理資金の対応等にあたり、農業者との継続的な協議等を行いながら、経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 28 年度 農業者の経営改善支援等の取組実績】

(単位：先)

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		134	0	—	130	0.0%	—
要注意先	うち その他要注意先②	231	7	32	190	3.0%	13.9%
	うち 要管理先③	16	0	1	12	0.0%	6.3%
破綻懸念先④		141	8	10	126	5.7%	7.1%
実質破綻先⑤		107	2	0	106	1.9%	0.0%
破綻先⑥		2	0	0	2	0.0%	0.0%
小計 (②～⑥の計)		497	17	43	436	3.4%	8.7%
合計		631	17	43	566	2.7%	6.8%

3 経営の将来性を見極める融資手法をはじめ、担い手に適した資金供給手法の徹底

J Aバンク佐賀では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金の提供による償還負担の軽減支援

J Aバンク佐賀では、農業者の債務償還負担を軽減し経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

平成 28 年度の実績は以下のとおりです。

【平成 28 年度 負債整理資金の貸出実績】

(単位：件、百万円)

資金名	実行件数	実行金額	平成 28 年 3 月末残高
農業経営負担軽減支援資金	1	5	204
畜産特別資金	0	0	889
その他	0	0	0
合計	0	0	1,093

- ・ 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。
- ・ 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換え資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

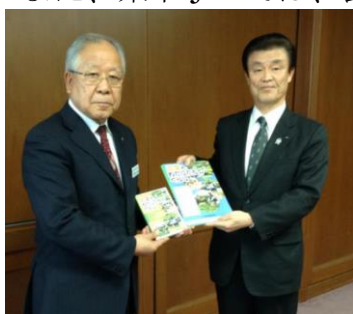
JAバンク佐賀では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 食・農への理解促進

JAバンク佐賀は、地域の小学生の農業に対する理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験学習の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、平成28年度は教育委員会を通じて、県下の小学校へ約1万冊配布され、学校の授業等において活用されています。

また、県下JAでは、食農教育などの実践活動に取り組んでいます。



【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAさが	ちゃぐりんキッズ	田植え・稲刈り、野菜・果物の収穫などの農業体験および収穫物や地元食材を使用した料理体験など幅広く行っています。
JA佐賀市中央	野菜作り体験	
JAからつ	稲作体験教室	
JA伊万里	フレッシュミズ食農教育活動	

(2) 環境保全への取組み

① 「県内一斉ふるさと美化活動」への参加

佐賀市内で実施された「ふるさと美化活動」に参加し、JA 会館周辺など駅前中心部の清掃活動を行いました。



②「森林整備活動」への取組み

佐賀県の基幹産業である農業に不可欠な水と大地を守り、豊かな暮らしと地域発展につなげるため、森林整備活動を行っています。

平成 27 年度に佐賀市富士町の山林地で植樹活動を行った「サンクスの森」では、苗木の生長を促すために雑草の除草活動を行いました。



以 上